



令和7年度 当初予算(案)のポイント

～安心できるまち、人が集まる磐田市～

令和7年2月
磐田市

令和7年度当初予算の 基本的な考え方

基本目標

『安心できるまち、 人が集まる磐田市』

政策推進の柱である5つの安心を土台に、
市民が幸せ（ウェルビーイング）と誇り（シビックプライド）を実感できる、
将来に希望が持てる持続可能（サステイナブル）なまち

<4つの重点戦略>

多様な立場の人同士が対話しながら、共に新たな価値を創り出す

地域経済活性化の共創

スタートアップをはじめ多様な業種の企業誘致の推進や既存産業の育成・支援、こどもや若者世代のキャリア教育の推進などにより、誰もが活躍でき、いつまでも安心して働き、暮らせるまちを目指します。

子育て・学びの環境の共創

子育て支援体制の充実やこどもが安心して学べる学校環境の整備など、未来を担うこどもたちの成長を支える取組を推進するとともに、すべての世代が生涯豊かに暮らせるよう、学びを楽しみ、人と人との対話を通じた交流が生まれるまちを目指します。

緑とにぎわいの共創

市民と一体となって、次世代に誇れる緑豊かなまちづくりに取り組むとともに、その豊かな環境の中でスポーツ・文化など本市が持つ宝や素材をさらに磨き、にぎわいと魅力あふれるまちを目指します。

共創で盛り上げる市制20周年

市制施行20周年を市民と共に祝い、一体感や地域への関心・愛着の醸成を図るとともに、魅力を広く発信することで、市外の人たちとの交流機会の創出を目指します。

令和7年度
当初予算のテーマ

共創で未来を育む
投資予算

当初予算の概要

令和7年度 当初予算(案)の構成

一般会計・全会計とも
予算規模は3年連続で過去最大

会計名称	令和7年度予算額	前年度比
一般会計	869億 7,000万円	+127.3億円 (+17.1%)
特別会計 ①駐車場事業 ②国民健康保険事業 ③後期高齢者医療事業 ④介護保険事業 ⑤財産区(4会計)	325億 5,716万円	+ 8.3億円 (+ 2.6%)
企業会計 ①水道事業 ②下水道事業 ③病院事業	396億 1,095万円	+ 1.7億円 (+ 0.4%)
全会計	1,591億 3,811万円	+137.3億円 (+ 9.4%)

※自主財源比率:46.0%(前年度比6.7ポイント減)

当初予算の概要

**一般会計 869億7,000万円（前年度比+127.3億円、+17.1%）の
主な増額要因は次のとおりです。**

事業名	予算額	前年比
海岸堤防整備事業 令和8年度完成を目指し整備を進める	85億 596万円	+50.1億円
向陽学府新たな学校づくり整備事業 令和8年4月の小中一体校開校に向け整備を進める	52億 834万円	+42.3億円
小中学校空調設置事業 令和7年度から体育館への空調設置を進め、令和9年度までの3年間で全校設置を目指す	11億1,419万円	+9.1億円
民間認可保育園等運営費補助事業 公定価格の上昇による扶助費の増(+5.1億円)、民間園開園に伴う増(+1.7億)	47億5,044万円	+6.8億円
児童手当支給事業 令和6年10月からの制度改正に伴う増	35億5,269万円	+6.7億円
消防庁舎建設事業 令和10年度の完成を目指し、実施設計や造成工事に向けた準備工事を進める	6億 456万円	+5.2億円
定額減税補足給付金給付事業	5億2,409万円	皆増

当初予算の概要

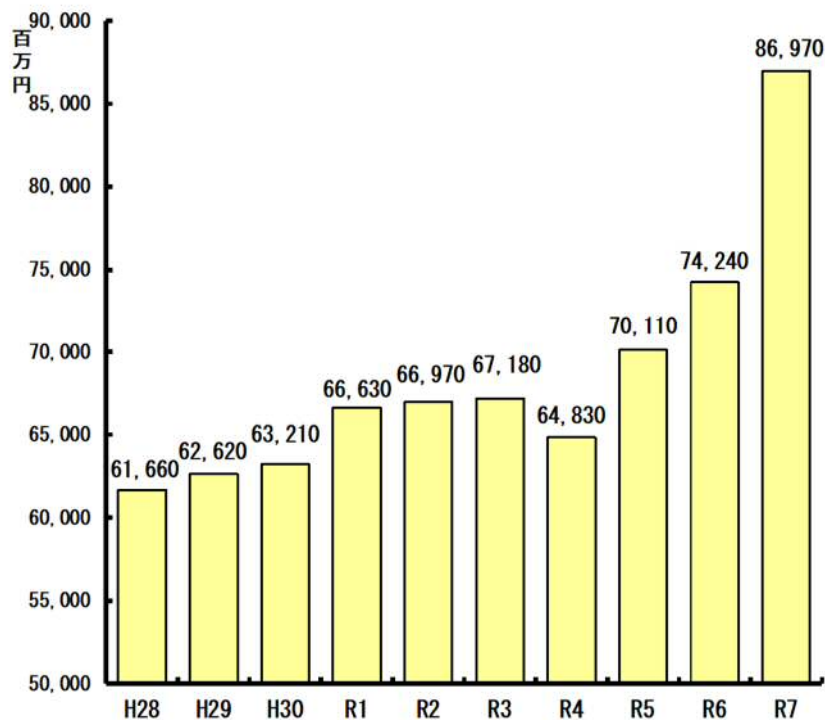
当初予算規模・基金の推移

予算規模は
過去最大

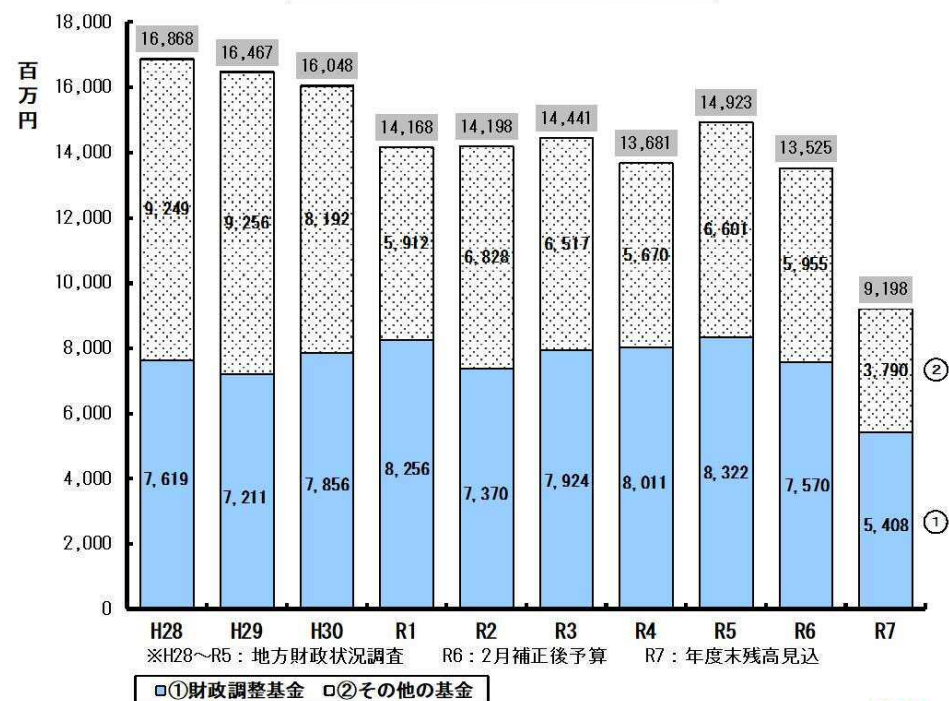
財調残高は
一定額を確保

※令和7年度当初予算
財政調整基金繰入額：24.8億円

一般会計当初予算額の推移



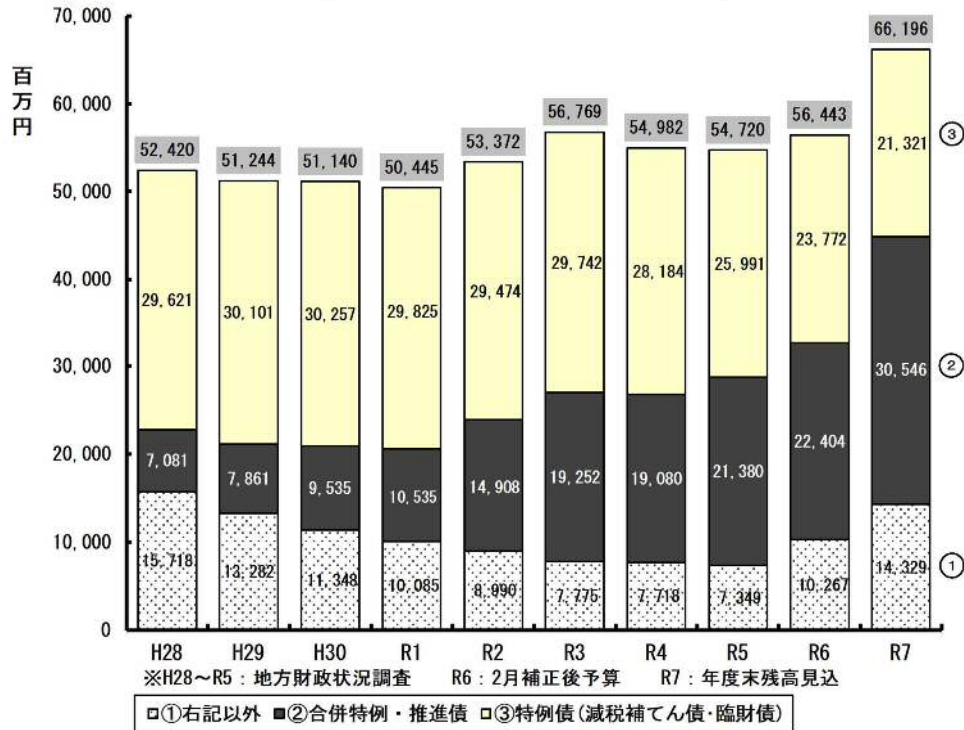
基金残高の推移（一般会計）



当初予算の概要

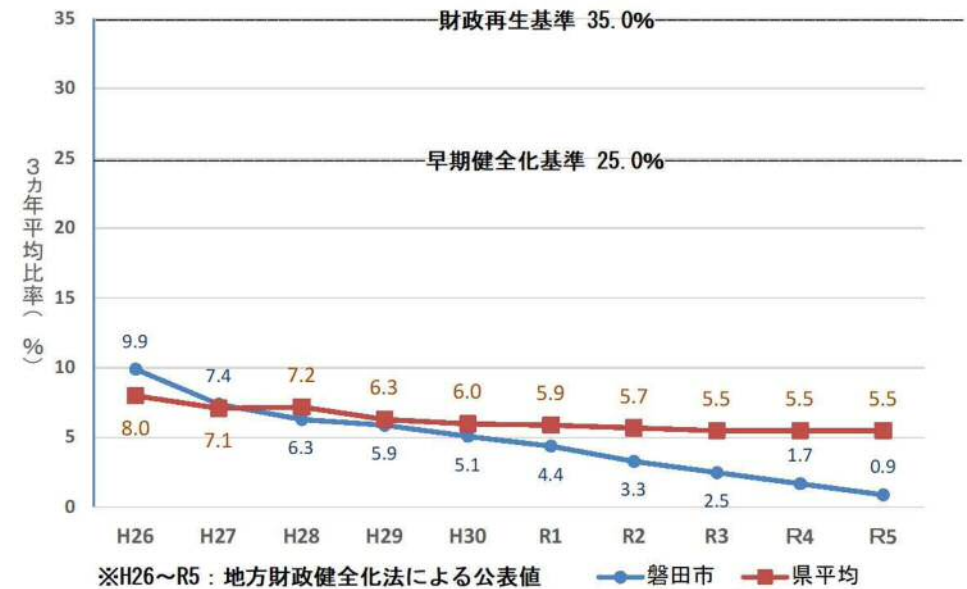
市債残高・実質公債費比率の推移

市債残高の推移(一般会計)



実質公債費比率は減少傾向にある
→普通建設事業に対して思い切った投資(起債)をする!

実質公債費比率(3カ年平均)



「4つの重点戦略」

地域経済活性化の「共創」

スタートアップを含めた多様な業種の企業誘致の推進や既存産業の育成・支援、子どもや若者世代のキャリア教育の推進などにより、誰もが活躍でき、いつまでも安心して働き、暮らせるまちを目指します。

企業(スタートアップ)支援の強化・促進

- ◆ **スタートアップ企業と市内企業とのマッチングによる地域産業の活性化** **NEW** 7,370千円
 - ◇ 産業イノベーションマネージャーを配置し、スタートアップ企業と市内企業等とのネットワークを形成し、協業創出により地域産業の活性化を図る
- ◆ **中小企業の脱炭素投資への支援** 5,000千円
 - ◇ 地域金融機関等との共創により、自社の二酸化炭素排出量を把握し、二酸化炭素排出量の削減に取り組む事業者を支援

子どもや若者世代のキャリア教育の推進

- ◆ **子どもの職業体験事業(アウト オブ キッズニア)** **NEW** 20周年記念事業 12,041千円
 - ◇ 地元企業と連携し、市内の小中学生に職業体験する場を提供することでキャリア教育を推進するとともに、児童・生徒に地元企業のことや働く魅力を知ってもらうことで将来の地元企業への就職・定着に繋げる



「4つの重点戦略」

地域経済活性化の「共創」

スタートアップをはじめ多様な業種の企業誘致の推進や既存産業の育成・支援、こどもや若者世代のキャリア教育の推進などにより、誰もが活躍でき、いつまでも安心して働き、暮らせるまちを目指します。

雇用創出・安定化への支援

- ◆ 企業立地に対する支援 **358,453千円**
 - ◇ 工場等の新設・増設を行う企業への支援
- ◆ オフィスの立地に対する支援 **20,000千円**
 - ◇ 新たな産業の柱を創出するため、情報通信業等の第3次産業に着目し、市内でオフィスの新設を行う企業へ支援
- ◆ UIJターンの促進 **31,888千円**
 - ◇ 広域の企業説明会や合同入社式の開催に加え、奨学金返済に対する支援など、UIJターン就職・地元定着促進を効果的に展開

元気な農林水産業の育成・支援

- ◆ 新たな特産物（レモン）の産地化への支援 **17,050千円**
 - ◇ 関係団体や企業との連携により、新たな産地化を目指すレモンを栽培する圃場整備や未収益期間栽培管理支援に対する支援
- ◆ 学校給食における地産地消の推進 **3,565千円**
 - ◇ 関係団体と連携し、磐田市の特産物を学校給食に使用することで、児童・生徒の郷土愛の向上・育成を図るとともに、地域内経済循環や将来的な農産物の生産拡大に繋げる



「4つの重点戦略」

子育て・学びの環境の「共創」

子育て支援体制の充実やこどもが安心して学べる学校環境の整備など、未来を担うこどもたちの成長を支える取組を推進するとともに、すべての世代が生涯豊かに暮らせるよう、学びを楽しみ、人と人との対話を通じた交流が生まれるまちを目指します。

こどもが安心して成長できる環境の充実

- ◆こどもの権利啓発と意見反映への取組み **NEW** 1,541千円
 - ◇磐田市こどもの権利と笑顔約束条例の理念に基づき、イベントなどを通しこどもの権利の普及啓発を図る
 - ◇こども・若者会議などを通してこども・若者の意見を施策に反映する
- ◆プレパパママ教室の実施 **NEW** 1,057千円
 - ◇産後うつ病を未然に防ぎ、妊娠期から継続的な支援を行うため、磐田市助産師会と連携し教室を開催する
- ◆公立こども園の預かり保育を利用する **NEW** 園児への給食提供 243,173千円
 - ◇長期休業中の給食提供の対象を幼稚園卒の園児まで拡充する
- ◆園遊戯室等の空調整備の拡充 68,989千円
 - ◇公立保育園・幼稚園・こども園の遊戯室等の空調整備を拡充することで、園児の安全を確保する

放課後活動の支援・強化

- ◆放課後児童クラブの民間委託化 **NEW** 558,915千円
 - ◇民間活力を活用することにより、利用時間の延長や祝日の開所など、サービスの拡充を図る



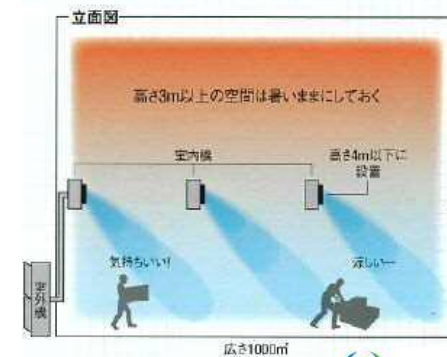
「4つの重点戦略」

子育て・学びの環境の「共創」

子育て支援体制の充実やこどもが安心して学べる学校環境の整備など、未来を担うこどもたちの成長を支える取組を推進するとともに、すべての世代が生涯豊かに暮らせるよう、学びを楽しみ、人と人との対話を通じた交流が生まれるまちを目指します。

質の高い学校教育等の推進

- ◆ 向陽学府小中一体校の整備と
令和8年4月の開校に向けた準備 5,210,372千円
- ◆ 学校体育館に空調設備を設置 **NEW** 605,526千円
 - ◇ 小中学校体育館に空調設備を計画的に設置し、児童・生徒の安全を確保するとともに、指定避難所としての環境改善を図る
- ◆ 水泳授業での学校外プールの活用検討 **NEW**
 - ◇ 小中学校の水泳授業について学校外プールの活用を検討 6,366千円
- ◆ 豊田北部幼稚園と豊田北保育園の
統合民営化に伴う施設整備補助 479,970千円
 - ◇ 保育ニーズに応えるため、民間の幼保連携型認定こども園を整備する
- ◆ 富士見小学校増築に向けた実施設計 **NEW** 28,490千円
 - ◇ 児童数に対する教室の確保のため、教室棟増築に向けた設計を行う
- ◆ 磐田北小学校整備基本構想 **NEW** 4,218千円
 - ◇ 整備に向けた調査と基本構想を地域との共創により進める
- ◆ 校内教育支援センターの拡充 19,488千円
 - ◇ 心の教室相談員の増員や環境整備により、校内教育支援センターを拡充する



「4つの重点戦略」

緑とにぎわいの「共創」

市民と一体となって、次世代に誇れる緑豊かなまちづくりに取り組むとともに、その豊かな環境の中でスポーツ・文化など本市が持つ宝や素材をさらに磨き、にぎわいと魅力あふれるまちを目指します。

自然と調和したまちづくりの推進

- ◆緑の基本計画を策定 **NEW** 6,820千円
 - ◇市民・事業者・行政の共創による緑豊かなまちづくりを目指し、指針となる計画策定のための基礎調査等を行う
- ◆駅周辺の街路樹整備 **NEW 20周年記念事業** 45,000千円
 - ◇JR磐田駅・豊田町駅・御厨駅周辺の街路樹を整備
- ◆海岸堤防の整備推進 8,505,960千円
 - ◇早期の完成に向け、海岸保全工区における県委託工事と海岸防災林工区の整備を継続して実施



多様な主体によるにぎわいの共創

- ◆民間団体が実施する本市の新たな魅力創出事業を支援 **NEW** 120,000千円
 - ◇ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングで、地方創生に資する民間団体等の取組みを支援
- ◆地域おこし協力隊を活用した課題解決 **NEW** 27,460千円
 - ◇既存の分野に加え、農業、観光、空き家対策の分野に新たに地域おこし協力隊を登用
- ◆(仮称)移住定住コーディネーターの設置 **NEW** 3,500千円



「4つの重点戦略」

緑とにぎわいの「共創」

市民と一体となって、次世代に誇れる緑豊かなまちづくりに取り組むとともに、その豊かな環境の中でスポーツ・文化など本市が持つ宝や素材をさらに磨き、にぎわいと魅力あふれるまちを目指します。

スポーツのチカラを活用した魅力の創設

- ◆かぶと塚公園内陸上競技場 26年ぶりの大規模改修 **NEW**
 - ◇平成11年供用開始以来となる全面的な改修工事を実施 629,904千円
- ◆スポーツプラットフォームの推進 1,500千円
 - ◇地域課題に沿った情報共有や、参加者交流を促進することで、課題解決や新たな価値の創造を目指す
- ◆スポーツ大会の開催に対する補助制度の創設 **NEW** 7,000千円
 - ◇磐田市内で開催される全国規模のスポーツ大会を通して、にぎわいの共創と地域経済活性化を目指し、新たな補助制度を創設



文化のチカラを活用した魅力の創設

- ◆展示施設整備による文化ゾーンの拡充 **NEW**
(ひと・ほんの庭にこっと2階を改修) 171,686千円
 - ◇「誰でも使いたくなる」「本物に触れられる」をコンセプトに、多世代の表現・交流の場や、様々な巡回展示の受け入れを目指し、文化芸術活動の展示施設を整備



「4つの重点戦略」

共創で盛り上げる市制20周年

市制施行20周年を市民と共に祝い、一体感や地域への関心・愛着の醸成を図るとともに、魅力を広く発信することで、市外の人たちとの交流機会の創出を目指します。

◆写真集「2025年のいわた」の作成 1,496千円

◇市制20周年の記念及び後世への記録とする写真集の作成

◆駅周辺の街路樹整備 45,000千円

◇JR磐田駅・豊田町駅・御厨駅周辺の街路樹を整備

◆ごみ減量標語大募集 30千円

◇入賞者の作品を新規ごみガイドブックに掲載

◆公用車で20周年を周知 814千円

◇記念ロゴマグネットを装備した公用車でPR

5月

◆こどもの権利フォーラム 220千円

◇こどもの権利及び磐田市こどもの権利と笑顔約束条例をテーマにした講演会・パネルディスカッション

7月

◆お絵かきワークショップ&絵本の読み聞かせ 400千円

◇市内在住の絵本作家 よこた だいすけ氏、声優兼絵本作家 かかずゆみ氏による絵本をテーマとしたワークショップと読み聞かせ

8月

◆旧見付学校開校150周年記念シンポジウム 534千円

9月

◆磐田市出身の著名人によるトークライブ 1,600千円

10月

◆(仮称) こどもフェスティバル 6,809千円

- ◇発達支援講演会(こども未来課)
- ◇公立・私立園共創事業 子育て世代向けイベント(幼児教育保育課)
- ◇こどもアート体験ワークショップ(文化振興課)
- ◇こどもシアター(ひと・ほんの庭にこっと)
- ◇豊田わくわくフェスタ(豊田支所市民生活課)

◆20周年記念防災イベント 1,240千円

- ◇普段の生活の中での防災の意識づけをテーマに、良品計画「いつものもしもプロジェクト」と連携したイベントを実施

共創で盛り上げる市制20周年

11月

◆市制施行20周年記念式典 5,492千円

◇記念動画上映、表彰、市歌合唱など

◆こども憲章「みんなの心得」の改訂 66千円

◇市制10周年で制定したこども憲章「みんなの心得」を現在のこどもの意見を取り入れ改訂

◆歴史文書館企画展 352千円

◇所蔵資料の公開(展示)、歴史学習会、現地見学会、古文書解説資料目録の発行

12月

◆Iwata Dream Live 2,400千円

◇磐田市ゆかりのプロアーティストが一堂に会し上質なエンターテインメントを提供

1月

◆しっぺい感謝祭の開催 322千円

2月・3月

◆職業体験事業(アウト オブ キッズニア) 12,041千円

◇地元企業と連携し、市内の小中学生に職業体験する場を提供することでキャリア教育を推進するとともに、児童・生徒に地元企業のことや働く魅力を知ってもらうことで将来の地元企業への就職・定着に繋げる

開催時期調整中

◆スポーツイベントの開催誘致 5,986千円

◇スポーツイベントの誘致やシンポジウムの開催を計画

◆夜軽トラ市の開催 416千円

◆海岸堤防植樹&ウォーク 743千円

◆給食試食会

◇令和元年度からコロナのため中止になっていた試食会を開催

◆地域医療を支える講演会 208千円

◇「地域医療いわた」と共創で地域医療に関する講演及びシンポジウムを開催

「その他の新規・拡充事業」

子育て・教育

- ◆発達支援に関する体制の強化 47,855千円
- ◆地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」の拡充 20,827千円

健康

- ◆带状疱疹ワクチン定期接種の開始 40,883千円
- ◆1か月児健康診査の公費負担の開始 6,204千円
- ◆補聴器購入費助成の拡充 5,400千円
- ◆介護サービス事業者へのケアプランデータ連携システムの導入を支援 600千円

市役所・暮らし

- ◆議場放送設備の改修 55,047千円
- ◆手数料のキャッシュレス決済の拡充 9,528千円
- ◆Webでの口座振替受付サービスの導入 5,005千円
- ◆電子契約システムの導入 1,804千円
- ◆戦後80年記念事業の実施 2,814千円



「その他の新規・拡充事業」

まちづくり

- ◆次期総合計画策定に向けた基礎データの作成 6,153千円
- ◆都市計画マスタープランの改定に向けた調査 3,355千円
- ◆立地適正化計画の改定に向けた調査 7,722千円
- ◆匂坂新天龍幹線改良事業 142,000千円



消防・防災

- ◆消防庁舎の整備推進 604,561千円
- ◆水災害対策プラン(いわた流域治水共創プロジェクト)
 - 一般会計:田んぼダム・樋門整備推進事業 6,000千円
 - 下水道事業会計:ポンプ場電気設備更新工事など 299,600千円
- ◆災害医療救護体制の整備 19,462千円
- ◆市役所駐車場にマンホールトイレを整備 8,866千円
- ◆防災センター1階改修工事 29,700千円
- ◆津波避難タワーの滞在環境整備 9,430千円



人材

- ◆外部人材の活用による市役所業務・市民サービスのさらなる改善 9,900千円
- ◆人材育成施策の強化(異業種・異組織間交流研修など) 2,168千円



「学び+対話」を推進し、人が集まる磐田市へ ～共創資本の充実へ～

これまでと同様に、多様な学びを楽しみ、「最新学習歴」を更新していく機会と場所を提供していくとともに、学びによる「対話」を通じて、人と人との交流やつながりができるまちを目指します。

この「学び+対話」で、『人』『もの』『お金』『情報』『文化』などの資本を充実させ、それらにより共創することで、地域課題の解決、そして人が集まる磐田市へとつなげていきます。

◆つながり・きっかけづくり

- ◇若手職員と民間企業等との異業種交流研修／職員課
- ◇IWATA合同入社式／経済観光課
- ◇いわた首都圏交流会／広報広聴・シティプロモーション課

◆地域づくり・市政参画

- ◇これからの公共施設と学校施設の意見交換会／資産経営課・教育総務課
- ◇まちづくりワークショップやファシリテーターの養成講座／自治デザイン課
- ◇未来の農林業連携懇話会／農林水産課

◆体験・実践・専門性

- ◇スマホサポーター養成研修／DX推進課
- ◇外国人を対象とした日本語教室／自治デザイン課
- ◇こども職業体験事業／経済観光課

◆講演会・シンポジウム

- ◇高校生企画講演会(高校生ラボ)／政策推進課
- ◇NPO等主催の学び講演会や研修会(ここからラボ)／自治デザイン課
- ◇スポーツ施設再編シンポジウム／スポーツのまち推進課



校舎のない学び舎

磐田ここからラボ

多様な学びを楽しみ対話を通じて人と人との交流をはぐくむ

組織機構について

子育ての充実へ

幼稚園保育園課を「幼児教育保育課」に名称変更

将来の成長に大きな影響を与える乳幼児期の教育・保育の質の向上と、多様な保育ニーズへのしなやかな対応を目指し、課名を変更します。

防災の充実へ

道路河川課に「治水対策推進室」を設置

水災害対策プランの着実な推進やポンプ場の更新等、頻発する災害級の豪雨に対する強化を図るため、道路河川課内に「治水対策推進室」を設置します。

消防本部に「救急課」を設置

救急の多様化、救急出動件数の増加への対応や、救急救命士の育成強化等のため、消防本部に「救急課」を設置します。

歴史・文化の充実へ

文化財課に「歴史観光担当」を配置

歴史資源の観光への活用を推進するため、文化財課に新たに担当を配置します。



	部	課	課内室	グループ
令和6年度	12	56	7	139
令和7年度	12	57	7	138